

政策シート 政策名 **03 自分らしさを大切にすることの育成**

予算費目名 **01 市立高校管理費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **02 子育て・教育**

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策 **02 市民協働による未来創造へのひとづくり**

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

・政令指定都市浜松唯一の市立高校として、文武両道の教育方針のもと「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を通して、グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成し、「規律ある進学校」を目指す。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	122,062	118,151	153,286	144,641	148,303	
決算	116,945	115,390	132,118	150,232		
人件費(報酬等)(A)	5,678	10,269	13,091	13,330	13,953	
人件費(人工分)(B)	545,300	563,300	535,200	538,740	531,040	
年間経費(予算又は決算+A+B)	667,923	688,959	680,409	702,302	693,296	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国公立大学合格者数	人	目標	150	150	150	150	150	150
		実績	181	184	181	200		
全国大会出場部活動数	部	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	11	13	10		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

・前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら行事、授業、部活動等の制限の範囲や実施方法等を調整し、教育活動の維持に取り組んだ。
・広く社会の発展に貢献できる人間を育成するためのキャリア教育(職業研究会)、主権者教育(政策提言)など、引き続き取り組んだ。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<p>・校訓「誠・愛・節」の精神に基づき、自立的人格の育成と、規律と責任のある生活態度を養っている。 ・高い学習意欲、幅広い教養、論理的思考力などを有した市立生を育成している。 ・生徒会活動、学級活動、行事、部活動等を通じて、人間性を高める指導を行っている。 ・前年度に引き続きコロナ禍の影響を受けていたが、生徒の努力と職員の積極的な支援で国公立大学合格者数は増加し、全国大会出場部活数はほぼ前年度並み、大会への出場者数は大きく増加した。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市立高校教育事業	-	○		520,039	17,704	70.5			8,835
2	市立高校管理デジタル運営経費	-	○		57,971	48,871	1.3			
3	市立高校管理運営経費	-	-		115,286	81,728	2.4	0.2	3.9	5,118
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					693,296	148,303	74.2	0.2	3.9	13,953

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市立高校教育事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。
 ・政令指定都市浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない「選ばれる学校」を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育					
事業とゴールの 関連性	「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育、質の高い教育実践の継続は、教育のSDGsにつながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	18,438	17,695	13,630	18,664	17,704	
	決算	16,436	11,165	11,812	17,362		
	国・県支出	387	479	629	906	717	
	市債						
	その他	102					
	一般財源 一般会計繰入金	15,947	10,686	11,183	16,456	16,987	
人件費(報酬等)(A)		5,468	7,271	7,522	8,356	8,835	
人件費(人工分)(B)		511,000	527,600	505,400	505,400	493,500	
人工	正規	70.0	75.0	72.0	72.0	70.5	
	再任用(31h)	2.0					
	再任用(26h)	1.0	1.0				
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0		0.5	0.5		
年間経費(予算又は決算+A+B)		532,904	546,036	524,734	531,118	520,039	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
国公立大学合格者数		目標	150	150	150	150	150	150
		実績	181	184	181	200		
全国大会出場部活動数		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	10	13	10		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・情報モラル研修や生徒指導の充実(特に成人年齢引き下げによる問題)
- ・GIGAスクール構想の実現に向けICT機器を活用した授業改善
- ・新学習指導要領実施に対応した学力保証、環境整備
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
- ・安心・安全な教育環境の整備
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・令和3年度に整備したICT環境や生徒一人一台端末導入を踏まえ、生徒に対する情報モラル指導実施した。
- ・GIGAスクール構想を踏まえた環境が整備されたが、それらを十分に生かした授業改善のための研修機会の確保は困難であった。
- ・キャリア教育に関する授業は予定通り実施できた。
- ・新型コロナの感染状況を踏まえ、授業、行事、部活等の制限を徐々に緩和しつつ、生徒の学力保障等に取り組んだ。加えて、生徒の努力と職員の積極的な支援が国公立大学合格者数の増、全国大会出場生徒数の増につながっている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新学習指導要領を踏まえた生徒の学びを保障するための授業改善や教職員研修の充実
- ・新型コロナウイルス感染症対策も考慮した教育活動への対応
- ・情報モラル教育の推進と成人年齢引き下げに伴う生徒指導



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後も新型コロナ感染症の状況も踏まえ一部制限もある中で授業、行事、部活動などを計画に沿って実施
- ・新学習指導要領を踏まえた生徒の学びの保障のため教職員研修の参加を推進
- ・継続的な教育活動の維持や更なる改善のため、市立高等学校の教育事業運営経費は今後も現状程度以上の規模が必要である。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新学習指導要領に対応した学力保障、授業改善に向けた教職員研修の充実
- ・高校の教育事業を維持していくための運営経費、資源等の確保
- ・情報モラル教育の徹底や成年年齢引き下げに伴う生徒への指導の実施



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・情報モラル教育や生徒指導の継続及び充実
- ・新学習指導要領実施に対応した学力保障のための環境整備
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	02	03	01	005118000	02	市立高等学校	草谷 篤	2023.7.1

事業シート (事業名) 02 市立高校管理デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・市立高校のICT環境の整備・充実することで、教育のICT化や校務のICT化を推進し、新しい時代を生きる生徒の学力保障や教職員の働き方改革に繋げる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの 関連性	・令和時代のスタンダードである「Society 5.0時代を生きる全ての子どもたちに公正に個別最適化された学びの保障」のため質の高い教育の確保は、これに資するものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			70,429	48,814	48,871	
	決算			57,319	57,556		
	国・県支出			4,655			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			52,664	57,556	48,871	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				12,300	8,400	9,100	
人工	正規			1.5	1.2	1.3	
	再任用(31h)			0.5			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				69,619	65,956	57,971	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
プロジェクト活用した授業を行う教職員の割合		目標			100.0	100.0	100.0	100.0
		実績			90.0	100.0		
授業でICTを活用できる、と回答する教職員の割合		目標				75.0	90.0	100.0
		実績				53.0		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	02	03	01	005118000	02	市立高等学校	草谷 篤	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・規律、責任、品位ある生活態度の定着のための情報モラル研修や生徒指導の充実
- ・GIGAスクール構想や新学習指導要領実施を見据えた学力保障のための環境整備と授業改善
- ・授業でのICT利活用を推進するための外部アドバイザーの活用
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志をもった進路実現
- ・家庭・地域等との連携推進
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善のため、行事検討、ICT活用等必要に応じた継続的な協議の実施



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・外部アドバイザーの支援も活用し、機器等のマニュアル作成や校内での研修会を開催するなど、教員の授業での活用が進んでいる。
- ・コロナ禍の影響もあり先進事例などの視察研修はできなかったが、大学教授から他県等の状況やICT活用をどのように授業改善につなげるか等、課題の意識付けをはかることができた。
- ・ICT機器等による学校業務への改善に向けた協議は、生徒一人一台端末導入など新たな協議などを優先した結果、時間的に困難であった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・高等学校においても切れ目のないICTを活用した授業の推進
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大も見据えた休校等にも対応可能な教育環境の維持と教育活動の継続
- ・授業等へのICT利活用の促進
- ・教職員の勤務時間の適正管理による働き方改革の推進



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・教員への授業用タブレット導入やネットワーク環境の整備などにより、授業での特にプロジェクタ活用率が上がった。
- ・授業改善のためにICT機器等をどのように活用していくか、などの計画的な研修は、コロナ禍の影響もあり困難であった。
- ・本校教職員向けに作成された情報モラル研修の動画視聴は、視聴後アンケート実施により参加率向上を図るとともに(参加率概ね100%)、課題意識の向上につながった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新学習指導要領を踏まえた生徒の学びの保障のため、ICT環境を生かした授業改善の推進
- ・ICT機器等利活用推進のための外部支援の活用
- ・校務のICT化と働き方改革の推進
- ・機器等の更新を見据えた、計画的な環境整備計画の策定
- ・市立高等学校管理デジタル運営経費の現状程度の事業規模の継続



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・生徒の規律、責任、品位ある生活態度の定着のため、情報モラル研修や生徒指導の充実
- ・GIGAスクール構想や新学習指導要領実施を見据えた学力保障のための環境整備と授業改善
- ・授業でのICT利活用を推進するための外部アドバイザーの活用
- ・教職員の情報モラル研修の継続実施
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善や働き方改革につなげるための、行事検討、ICT活用等必要に応じた継続的な協議の実施

事業シート (事業名) 03 市立高校管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市立高等学校の管理・運営に必要となる光熱水費、維持管理等経費を有効かつ効率的に執行する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育
事業とゴールの関連性	教育環境を整え質の高い学習の保障や、持続可能な部活動運営など学校運営体制を強化することは、これに資するものである。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	103,624	100,456	69,227	77,163	81,728	
	決算	100,509	104,225	62,987	75,314		
	国・県支出	105	9,496	1,607	1,109	108	
	市債						
	その他	1,329	387	1,257	3,391	1,344	
	一般財源	99,075	94,342	60,123	70,814	80,276	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	210	2,998	5,569	4,974	5,118	
	人件費(人工分)(B)	34,300	35,700	17,500	24,940	28,440	
人工	正規	3.7	3.5	1.5	2.1	2.4	
	再任用(31h)				0.2	0.2	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0	2.5	3.4	3.9	
年間経費(予算又は決算+A+B)		135,019	142,923	86,056	105,228	115,286	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・市立高等学校の教育活動の維持管理や、教職員及び生徒に要する経費等の適正な執行
- ・施設の維持保全のため各種設備等の定期的な点検保守及び補修等の実施
- ・生徒が安全安心な学校生活を送ることができる環境整備の充実



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・生徒及び教職員が教育活動に安心・安全に取り組むことができるよう、法令に従い生徒健康診断の実施、教職員指定年齢検診の実施、各種設備等の保守点検の実施など、計画通り実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き衛生環境保持のための物品購入等を計画的に行った。
- ・突発的に発生した急を要する修繕を優先したために、修繕については予定通りの執行は困難であった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症対策の継続
- ・教職員の勤務時間管理と働き方改革



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生徒が安心安全な学校生活を送ることができることを第一に考え、緊急度の高いものを優先に修繕等を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品等を定期的に購入した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽化している施設設備の状況の現状把握と修繕等計画の策定及び実施
- ・校務のICT化、教職員の働き方改革のための意識改革の推進
- ・新型コロナウイルス感染症対策の継続



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・市立高等学校の教育活動の維持管理や、教職員及び生徒に要する経費等の適正な執行
- ・施設の維持保全のため各種設備等の定期的な点検保守及び補修等の実施
- ・生徒が安全安心な学校生活を送ることができる環境整備
- ・新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた計画的な衛生関連物品等の整備

政策シート 政策名 03 自分らしさを大切にすることの育成

予算費目名 02 市立高校建設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 02 子育て・教育

理想の姿 (30年後) ◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

政策の柱 (10年後) ◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策 02 市民協働による未来創造へのひとつくり

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

・学校施設設備整備事業の実施
・全面建替以降30年近くが経過し、補修・改修を要する設備、箇所が増えているなか、緊急性と重要性を勘案し、適時に整備事業を実施する。

(3) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	40,625	106,556	49,392	58,750	20,699	
決算	41,232	105,442	17,185	86,744		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,100	3,500	8,800	8,060	8,760	
年間経費(予算又は決算+A+B)	43,332	108,942	25,985	94,804	29,459	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

・体育館照明LED化工事及び体育館床タラフレックス張替工事
・図書室、放送室、電算室、プール監視室の空調設備更新
・その他、緊急性のある工事等

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・計画していた工事、修繕、設計等は予定どおり実施した。
・経年劣化により更新すべき箇所は多いため、劣化調査の結果を踏まえた計画的な修繕、更新等が必要であるが、緊急対応が必要な箇所が多く、順位付けが難しい。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市立高等学校施設整備事業	-	○		29,459	20,699	0.8	0.8		0.1
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					29,459	20,699	0.8	0.8		0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市立高等学校施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全安心な教育環境を提供するため計画的に学校施設の整備、充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	生徒が安全安心に学校生活を送ることができる教育環境を提供するため、計画的に学校施設の整備、充実を図ることは、これに資するものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	40,625	106,556	49,392	58,750	20,699	
	決算	41,232	105,442	17,185	86,744		
	国・県支出						
	市債						
	その他		100,000				
	一般財源	41,232	5,442	17,185	86,744	20,699	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	2,100	3,500	8,800	8,060	8,760	
人工	正規	0.3	0.5	1.0	0.7	0.8	
	再任用(31h)			0.5	0.8	0.8	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		43,332	108,942	25,985	94,804	29,459	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・体育館照明LED化工事及び体育館床タラフレックス張替工事
- ・図書室、放送室、電算室、プール監視室の空調設備更新
- ・その他、緊急性のある工事等について、可能な範囲で迅速に対応する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・計画していた工事、修繕、設計等は予定どおり実施した。
- ・経年劣化により更新すべき箇所は多いため、劣化調査の結果を踏まえた計画的な修繕、更新等が必要であるが、緊急対応が必要な個所が多く、順位付けが難しい。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・長寿命化計画の策定
- ・電気設備のLED化
- ・トイレの乾式化、洋式化



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の適正な維持管理を行う事業であり、予算の範囲内で整備、修繕、更新等を行ったが、継続的な学校環境整備の充実が必要である。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・学校施設築造から30年近く経過し、校舎や設備機器等の経年劣化が顕著であることから、劣化調査や現状を踏まえた修繕等計画を作成し、施設の長寿命化に努める。
- ・適正な施設設備改修や保全管理を行うための専門的な人材又は、包括的な外部委託の検討



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・特別教室照明LED化工事
- ・講堂舞台機構吊物昇降装置(手動吊物ワイヤーロープ取替工事、開閉器ランナー取替工事、ロープロック更新工事、昇降マシンVベルト等取替工事、マニラロープ更新工事)
- ・長寿命化計画の策定
- ・その他、緊急性のある工事等について、可能な範囲で迅速に対応する。